

令和2年度
花巻市行政評価委員会評価報告書

令和2年10月
花巻市行政評価委員会

令和2年度

花巻市行政評価委員会評価報告書

目次

1	委員長あいさつ	1
2	花巻市の行政評価の概要	
	・行政評価とは	2
	・行政評価の目的	3
	・花巻市まちづくり総合計画の構成（政策体系）と行政評価	3
	・行政評価の手法	4
	・市民参画による評価	4
3	花巻市行政評価委員会における評価の視点	5
4	花巻市行政評価委員会の評価対象施策	6
5	花巻市行政評価委員会の評価スケジュール	7
6	令和2年度施策評価検証シート	
	・しごと部会	8
	・暮らし部会	10
	・人づくり・地域づくり部会	12
7	行政評価の改善に関する提言	14
参考資料		
	・花巻市行政評価委員会設置要綱	15
	・花巻市行政評価委員会委員名簿	16

1 委員長あいさつ

ここに「令和2年度花巻市行政評価委員会評価報告書」をまとめることができました。コロナ禍にもかかわらず、各委員の方々には、貴重な時間を割いて、部会での評価や全体会での議論に参加していただきました。評価対象の施策主管課の方々には、ヒアリングのための資料作成、丁寧な説明を頂きました。委員会事務局の方々には、円滑な運営、そして短期間での報告書作成のためにご尽力いただきました。この場をお借りして関係各位に深く感謝申し上げます。

花巻市は、平成19年度に行政評価を導入して事務事業評価を実施し、平成20年度からは施策評価を実施するなど、行政評価制度の充実を図っています。行政評価の目的は、花巻市まちづくり総合計画における政策、施策、事務事業について、年度ごとにその成果を客観的に評価し、その結果を次年度の施策の方向や予算等に反映させようとすることにあります。

花巻市の行政評価制度の充実の一環として平成23年度に設置されたのが花巻市行政評価委員会です。本委員会は、花巻市の行政評価の客観性と透明性の向上、市民参加による行政評価の充実を図ることを目的として活動しております。その活動は、委員が所属する3つの部会（「しごと」、「暮らし」、「人づくり・地域づくり」）における施策及びそれを構成する事務事業の内部評価に対する市民の立場からの評価、全体会における各部会の評価結果の共有、行政評価制度等のあり方に対する提言という形をとって表れています。平成26年度からは、平成25年度の花巻市まちづくり総合計画の策定を機に、施策レベルでの評価をメインとした、施策を構成する事務事業の選択・重点化を重視した評価に変更しています。今年度の本委員会でも、これを受ける形で、6施策を評価対象としました。なお、花巻市が実施した行政評価の結果についての評価、検証する際に使用する「施策評価検証シート」の様式を一部変更しました。

本委員会の活動及び本報告書が、今後の花巻市の行政活動を改善するための議論の参考となれば幸いです。

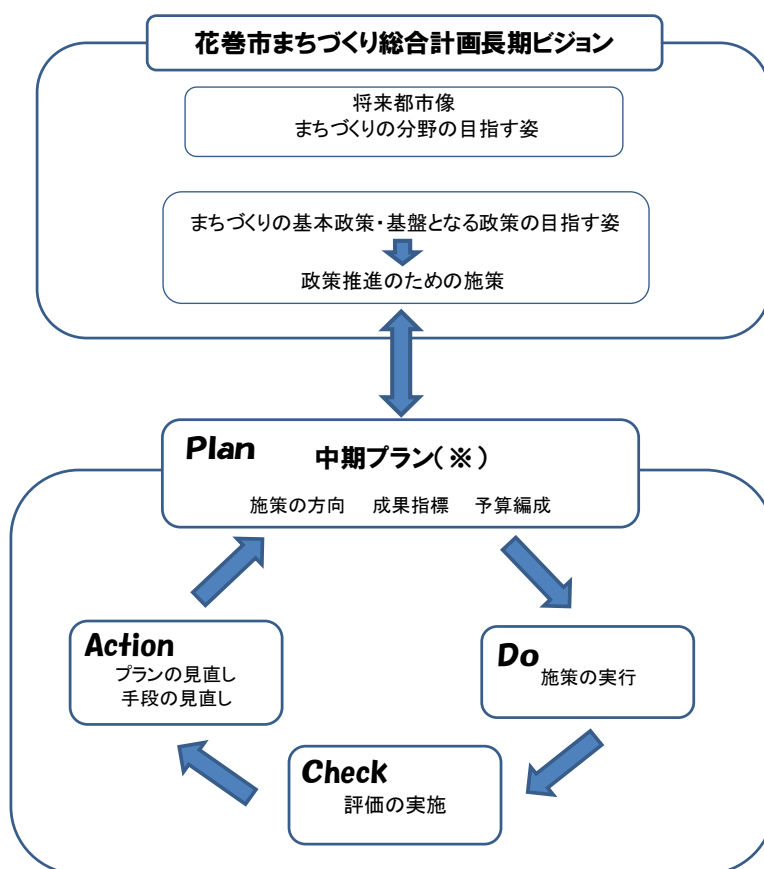
花巻市行政評価委員会 委員長 影山 一男

2 花巻市の行政評価の概要

行政評価とは

行政評価とは、花巻市まちづくり総合計画における政策や施策、事務事業についてどのような成果があったかを客観的に評価し、その結果を次の施策等に反映させるためのものです。

具体的には、花巻市まちづくり総合計画の政策体系に沿って、計画（Plan）・実施（Do）・評価（Check）・改善（Action）のサイクルにより、前年度の結果を振り返り、そこから改革や改善の方策を考えて、次年度の施策の方向や予算等に反映させます。



(※) 中期プランは、総合計画に掲げる将来都市像を実現するため、目標年次までに取り組む施策の基本的な方向性や数値目標、主要事業を示すものです。総合計画期間である10年間で3年・3年・4年の3期に区分して策定しています。

図1 【総合計画を中心とした行政運営】

行政評価の目的

(1) 効果的・効率的な行政運営の推進

限られた行政資源（ヒト、モノ、カネ）を最大限活用し、事務事業の効率化、適正化を図るとともに、目的の達成状況等を評価して見直し・改善を行います。

(2) 市民への説明責任と行政情報の共有

評価結果をわかりやすいかたちで公表することで、市民に対する説明責任を果たすとともに、市政への共通認識を深め、市民と行政との協働の取組を進めます。

(3) 職員の政策形成能力の向上と意識改革

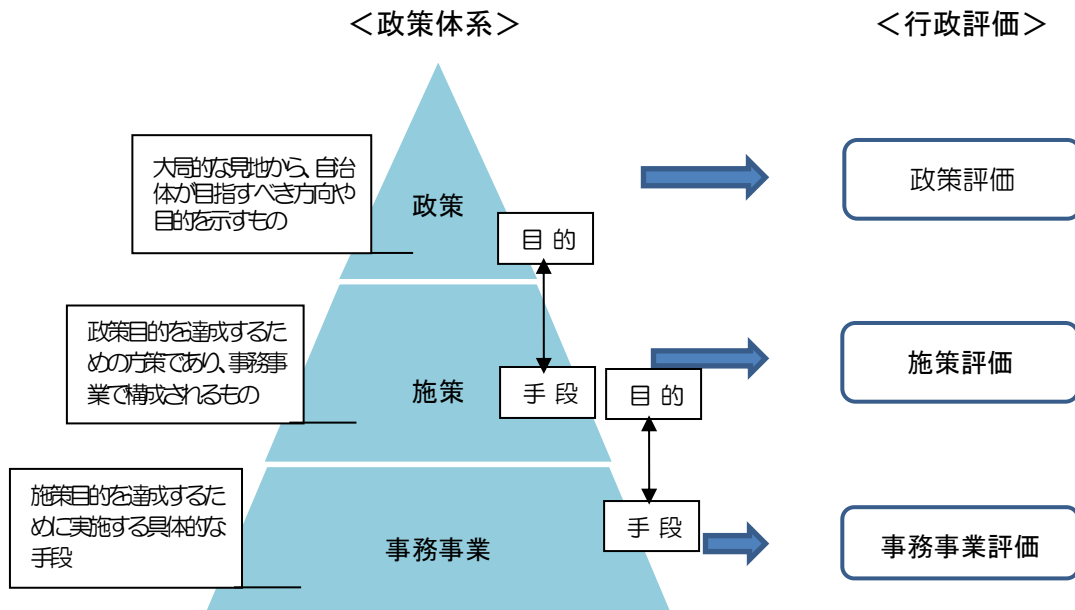
評価を通じ、目的・成果・コスト意識をもつことにより、職員の政策形成能力の向上や財源を効率的・効果的に活用する意識の徹底を図ります。

(4) 花巻市まちづくり総合計画の進行管理

花巻市まちづくり総合計画の各施策について、成果指標の達成状況の把握等により、その進行管理を行うとともに、施策目的達成のための事務事業の構成など、施策の方向性を検討し、次年度の重点施策の策定と予算編成への活用を図ります。

花巻市まちづくり総合計画の構成（政策体系）と行政評価

花巻市まちづくり総合計画は、花巻市の目指すべき将来都市像「市民パワーをひとつに歴史と文化で拓く 笑顔の花咲く温か都市 イーハートープはなまき」を実現するため、5つのまちづくりの分野の目指す姿の下に、政策、施策、事務事業の3つの階層によって体系が構成されています。花巻市の行政評価は、この体系に基づいて実施しています。



行政評価の手法

花巻市では、平成 26 年度から 10 年間の計画期間とする花巻市まちづくり総合計画の策定を機に、従来の事務事業評価を中心とした評価から、施策を構成する事務事業の選択・重点化を重視した施策評価を中心とする評価システムを運用しています。

(1) 政策評価

市政の方向を示す政策や政策を構成する施策を大局的な視点でとらえ、政策の目指す姿を実現するための問題点や課題を総括します。【中期プランの各期最終年度に実施】

(2) 施策評価

政策目的を達成するための手段としての施策の有効性、また、施策を構成する事務事業が妥当かを評価します。評価の主な視点は以下のとおりです。

- 施策の目的と目標の確認
- 施策の現状と課題の認識
- 施策を構成する事務事業の貢献度等の検証

(3) 事務事業評価

成果指標の達成状況の検証を行うとともに、施策目的を達成するための手段である事務事業について、目的妥当性、有効性、効率性、公平性の視点で評価を行います。

市民参画による評価

花巻市による内部評価だけでなく、市民参画による客観的な評価により、わかりやすく透明性の高い行政運営を実現します。

その一端を担うのが、花巻市行政評価委員会による評価です。花巻市が実施した内部評価の結果について、外部の視点で評価するとともに、行政評価の改善について提言を行います。



第 1 回委員会（委嘱状交付）



第 1 回委員会（全体会）

3 花巻市行政評価委員会における評価の視点

花巻市では、花巻市まちづくり総合計画の策定を機に施策評価を中心とした行政評価システムを運用していることから、花巻市行政評価委員会においても、市が行った行政評価のうち施策評価を中心として検証、評価を行いました。

その際、花巻市が作成した「施策評価シート（平成 31 年度実績評価）」を以下の視点で検証、評価し、「施策評価検証シート」を作成しました。

表1 評価の視点

<p>「◎前年度評価の振り返り」の「反映状況」について</p> <p>⇒令和元年度に実施した評価結果が取組に活かされているか（「Check＝評価」から「Action＝見直し」がなされているか）。</p> <p>《視点の例》</p> <ul style="list-style-type: none">・「前年度評価時の今後の方向性」に記載された内容について、実施又は実施に向けた取組がなされているか。また、実施できない場合などは、その原因や代替策などが示されているか。
<p>「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」について</p> <p>⇒市の取組の結果や外部要因などを踏まえ、分析が十分になされているか。</p> <p>《視点の例》</p> <ul style="list-style-type: none">・成果指標の実績値の増減理由等について、データ等の根拠を明確にしているか。・市の取組結果が成果にどのようにつながったか把握しているか。
<p>「4 施策を構成する事務事業の検証」について</p> <p>⇒事務事業について、活動実績や成果等を踏まえ、必要な検証がなされているか。</p> <p>《視点の例》</p> <ul style="list-style-type: none">・市民ニーズや市の関与の必要性の変化、費用対効果や成果の向上の余地等を検討したうえで、成果の向上を図る事業、新たに取り組むべき事業などを明らかにしているか。・「施策を構成する事務事業一覧」の「成果」が”C”のものなど、検証が必要と思われるものについて記載しているか。
<p>「5 施策の総合的な評価」について</p> <p>⇒これまでの記載を踏まえて、総合的な評価がなされているか。</p> <p>《視点の例》</p> <ul style="list-style-type: none">・「◎前年度の評価の振り返り」の「反映状況」、「3 成果指標の達成状況」、「4 施策を構成する事務事業の検証」等を踏まえて、「施策の目指す姿」の達成につながる「Action＝見直し」の方向性が示されているか。・現状や問題点だけでなく、「課題」（あるべき姿と現状のギャップを埋める方法、目標達成のために市がなすべきこと）を捉えているか。・「課題」に対応した「今後の方向性」が具体的に記載されているか。
<p>●シート記載内容全般について</p> <p>⇒率直に捉えて、改善点などについて意見を記載。</p> <p>《視点の例》</p> <ul style="list-style-type: none">・施策評価に必要な事項がわかりやすく記載されているか。・市民目線でわかりづらい表現はないか。

4 花巻市行政評価委員会の評価対象施策

花巻市まちづくり総合計画では、将来都市像と5つのまちづくり分野の「目指す姿」を掲げ、その「目指す姿」の実現のために実施する21の政策と72の施策を示しています。

花巻市行政評価委員会での評価に当たり、「しごと」、「暮らし」、「人づくり・地域づくり」の3部会を設置して、各部会において評価対象施策を決定し、計6施策の評価を実施しました。

政策No.・政策名	施策No.・施策名	部会
1-2 工業の振興	1 技術力・経営力の向上	しごと
1-3 商業の振興	2 商店街の再生	
2-5 福祉の充実	3 障がい者福祉の充実	暮らし
2-6 健康づくりの推進	1 健康づくりの支援	
3-1 子育て環境の充実	1 子育て支援の充実	人づくり・ 地域づくり
3-3 生涯学習の推進	1 自主的学習の推進	



第2回委員会（暮らし部会）



第2回委員会（人づくり・地域づくり部会）

5 花巻市行政評価委員会の評価スケジュール

回	日時	会議	内容	会場
第1回	7月30日	全体会	<ul style="list-style-type: none"> ・花巻市行政評価委員会の役割や評価の進め方等の説明 ・部会設置 ・評価対象施策選定 ・日程調整 	COMZホール
第2回、 第3回	8月31日	暮らし部会	<ul style="list-style-type: none"> ・施策担当課へのヒアリング <p style="text-align: center;">↓</p>	花巻市役所 まなび学園
	9月3日	暮らし部会 人づくり・地域づくり部会	<ul style="list-style-type: none"> ・花巻市が作成した「施策評価シート（平成31年度実績評価）」の検証、評価 <p style="text-align: center;">↓</p>	
	9月11日	人づくり・地域づくり部会 しごと部会（2回）	<ul style="list-style-type: none"> ・「施策評価検証シート」の作成 	
第4回	9月25日	全体会	<ul style="list-style-type: none"> ・評価結果の決定 ・行政評価の改善に関する提言 	COMZホール



第3回委員会（しごと部会）



第4回委員会（全体会）

				部会名	しごと部会
施策No.	1-2-1	施策名	技術力・経営力の向上	施策主管課	商工労政課
施策の目指す姿	企業の技術力や経営力が向上しています				
■ 施策評価シート(平成31年度実績評価)について					
<p>「◎前年度評価の振り返り」の「反映状況」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・反映している。 					
<p>「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「設備投資伸び悩み」の要因として、「中小企業の景況感の減速がみられること」が挙げられことで済まされているが、その景況感の減速の要因として、消費税率の引上げ、駆け込み需要の少なさ、米中貿易摩擦を挙げるべきである。 					
<p>「4 施策を構成する事務事業の検証」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要な検証がなされている。 					
<p>「5 施策の総合的な評価」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価がなされている。 					
<p>●シート記載内容全般について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例えば、「制度の活用に至っていない」に対して「周知を図る」と方向性が述べてあるが、より具体的に記述されることが望ましい。 ・「スクラップアンドビルド」という表現があるが、「拡充と見直し」という表現のほうがわかりやすい。 ・事前の参考資料として、産業支援施策のパンフレットも配布していただければ良かった。 ・シートの形式の見直しが必要である。もっとシンプルにしてほしい。 					

				部会名	しごと部会
施策No.	1-3-2	施策名	商店街の再生	施策主管課	商工労政課
施策の目指す姿	歴史と景観が調和した魅力ある商店街となっています				
■ 施策評価シート(平成31年度実績評価)について					
<p>「◎前年度評価の振り返り」の「反映状況」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・反映している。ただし、花巻地域に偏りすぎており、市民目線で見ると、大迫、石鳥谷、東和へも触れられるべきである。さらに、商店街の新しい動きについて、市民にPRすべきである。例えば、若者によるリノベーションの街づくりへの取組など。 					
<p>「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明されている。ただし、「市街地における一日当たりの歩行者数」という成果指標の妥当性については、自動車利用者が多くその人たちの計測が難しいのではないかと、など疑問が出された。 					
<p>「4 施策を構成する事務事業の検証」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務事業の検証結果がすべてCであったが、事務事業の必要性についてより具体的に記述すべきである。 					
<p>「5 施策の総合的な評価」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価がなされている。 					
<p>●シート記載内容全般について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花巻地域に記述が偏っている。事務事業では、その多くが、大迫、石鳥谷、東和を対象にしている。これらの地域での今後につながる動向をきちんと記述してほしい。 					

				部会名	暮らし部会
施策No.	2-5-3	施策名	障がい者福祉の充実	施策主管課	障がい福祉課
施策の目指す姿		障がい者が自立した生活を送っています			
<p>■ 施策評価シート(平成31年度実績評価)について</p> <p>「◎前年度評価の振り返り」の「反映状況」について</p> <ul style="list-style-type: none"> 前年度評価時の方向性に対応した形で当該年度の施策への取組みがなされていると考えられる。 					
<p>「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」について</p> <ul style="list-style-type: none"> しっかりと足元を見据え、適切に数字も示されており、分かりやすい分析となっていると考えられる。ちなみに、広報等には障がい者に関する情報も多く掲載されている。こうした市の取組みも施策の実現に一定の効果をもっていると考えられる。成果指標の達成度「a」評価の分析として外的要因以外にもこうした取組みに関する分析もあればさらに良かったのではないかな。 					
<p>「4 施策を構成する事務事業の検証」について</p> <ul style="list-style-type: none"> 必要な検証がなされていると考えられる。補足的な意見として、さらに成果の向上を図る事業としてあげられている「障がい者生活支援事業」については、ボランティアの募集という指標は重要だが、さらに評価の部分の掘り下げ、改善への方向性を探る切り口としてボランティア募集以外の部分にも多角的に間口を広げるような企画を検討する余地もあるのではなかろうか。 					
<p>「5 施策の総合的な評価」について</p> <ul style="list-style-type: none"> 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組み、その成果指標の達成状況の分析と構成する事務事業の検証を踏まえた形で適切に総合的な評価がなされていると考えられる。 					
<p>●シート記載内容全般について</p> <ul style="list-style-type: none"> 正確な用語の使用、簡潔な表現、分かり易さのそれぞれを満足させるよう努力されていると考えられる。そのうえで、事務事業名として「～事業費」となっているのは違和感を感じる。 「障がい者地域生活支援拠点等整備事業」の「地域生活支援拠点等」の概念は、なかなかイメージしづらいものがある。 					

				部会名	暮らし部会
施策No.	2-6-1	施策名	健康づくりの支援	施策主管課	健康づくり課
施策の目指す姿	健康に対する意識が高まっています				
<p>■ 施策評価シート(平成31年度実績評価)について</p> <p>「◎前年度評価の振り返り」の「反映状況」について</p> <ul style="list-style-type: none"> 前年度評価時の方向性に対応した形で当該年度の施策への取組みがなされていると考えられる。 					
<p>「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」について</p> <ul style="list-style-type: none"> おおむね妥当な分析がなされていると考えられる。そのうえで、成果指標「健康増進のために意識的に運動をしている市民の割合」の達成状況に関する分析について、コロナによらない要因分析が加わればさらに良かったのではないかと。 					
<p>「4 施策を構成する事務事業の検証」について</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの成果や活動実績を踏まえて、具体的な検証がなされていると考えられる。 					
<p>「5 施策の総合的な評価」について</p> <ul style="list-style-type: none"> おおむね、これまでの記載を踏まえた総合的な評価となっていると考えられる。そのうえで、「3. 成果指標の達成状況に関する背景・要因」のところで示されていた、食生活改善推進員を通じた講習会の「参加者の固定化や高齢化」という分析には、この施策に係る現在の課題と今後の方向性を考えるうえでの大切な視点が含まれているとも考えられる。youtubeやオンラインを活用した、若い世代に向けた健康のための食生活や生活改善のアプローチというようなことが今後の方向性として示されていれば、さらに良かったのではないかと。 					
<p>●シート記載内容全般について</p> <ul style="list-style-type: none"> 特になし。 					

				部会名	人づくり・地域づくり部会
施策No.	3-1-1	施策名	子育て支援の充実	施策主管課	こども課
施策の目指す姿		安心して子育てしています			
■ 施策評価シート(平成31年度実績評価)について					
<p>「◎前年度評価の振り返り」の「反映状況」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策評価シートであるから、「現状と課題」に記載されている事項については、すべての項目について記載すべきである(「5 施策の総合的な評価」の「今後の方向性」の記載とかがわる)。 					
<p>「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の達成度(小文字)と施策全体の達成度(大文字)の関係がわかりにくい。 ・成果指標が達成できていない場合のその背景・要因についての分析が不足しているのではないか。具体的には、達成度がcであった「保育所の待機児童数」について、「保育士確保が追い付かず待機児童が発生している」と言及されているのみであり、なぜ保育士確保が追い付かなかったのか、その背景・要因について分析し、説明すべきである。 					
<p>「4 施策を構成する事務事業の検証」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし 					
<p>「5 施策の総合的な評価」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題に対する今後の方向性については、他の選択肢の可能性はないのかについて検討してほしい。例えば、「公設の学童クラブでの待機児童解消を図るため、保育スペースの確保が必要である」との課題に対し、「待機児童がいる学童クラブについて、施設の増築を実施する」が今後の方向性とされているが、既存施設を改築することなども選択肢となりうるのではないか。増築のみが今後の方向性なのであれば、なぜ増築のみが選択肢となるのか、その理由について言及してもらいたい。 ・今後の方向性に記載されている内容に具体性が乏しい。具体的に数値的なものも示していくべきである。 ・施策評価シートであるから、「現状と課題」に記載されている事項については、すべての項目について記載すべきである。 					
<p>●シート記載内容全般について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状をふまえ、課題を解決するための政策・施策・事務事業であると思われるが、現状と課題に記載されている内容と施策評価シートの内容に乖離があり、成果指標自体が適切なのかについて疑義がある。 ・成果指標について、その成果指標が設定された背景や意図、目標値の根拠を示してもらいたい。それがなければ、目標が高いために達成度が低いのか、目標が低いために達成度が高いのかについて判断できないためである。 ・成果指標が%である場合、実数も記載してもらいたい。 					

				部会名	人づくり・地域づくり部会
施策No.	3-3-1	施策名	自主的学習の推進	施策主管課	生涯学習課
施策の目指す姿	自主的な生涯学習活動を活発に行っています				
■ 施策評価シート(平成31年度実績評価)について					
<p>「◎前年度評価の振り返り」の「反映状況」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし 					
<p>「3 成果指標の達成状況」の「達成状況に関する背景・要因」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「60代前半でのシニア大学入学者も減少傾向にある」とあるが、成果指標は「生涯学習講師新規登録者数」であり、達成状況に関する背景とは無関係である。後段では60代以下の講師登録者数(新規なのかは不明)について記載されており、70代以上の新規登録者の状況が記載されていないので、記載するべきである。 					
<p>「4 施策を構成する事務事業の検証」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習活動支援事業において「工夫が必要」とあるが、どのような工夫が必要なのかが不明である。施策の目標を達成するために具体的にどのような事業を行うべきなのかについて記載するべきである。 ・新たに取り組むべき事業として、新花巻図書館整備事業に関する「ワークショップ等を実施する」とあるが、いつ(いつまでに)何を(等の詳細が不明)行うのかについての記載がなく、新たに取り組むべき事業の詳細について記載するべきである。 					
<p>「5 施策の総合的な評価」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題として、生涯学習講師新規登録者数を増やす「工夫」や生涯学習に取り組んでみたいと思う人の割合を増やす「工夫」が必要とあるが、どのような工夫が必要なのかが具体的に記載するべきである。 ・今後の方向性として、「検討する」との記載が複数みられるが、何を検討するのかが不明であり、検討内容は何かについて具体的に記載するべきである。 					
<p>●シート記載内容全般について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状をふまえ、課題を解決するための政策・施策・事務事業であると思われるが、現状と課題に記載されている内容と施策評価シートの内容に乖離があり、成果指標自体が適切なのかについて疑義がある。 ・成果指標について、その成果指標が設定された背景や意図、目標値の根拠を示してもらいたい。それがなければ、目標が高いために達成度が低いのか、目標が低いために達成度が高いのかについて判断できないためである。 ・総じて記載内容に具体性が乏しく、何のための評価・検証なのか、疑問を呈せざるを得ない。 					

7 行政評価の改善に関する提言

(1) 行政評価委員会への資料配布方法について

事前に配布される資料について、郵送かデータ配信とするかを委員の希望に応じて選択ができるようにした方がよい。

(2) 成果指標について

成果指標について、設定された背景や意図、目標値の根拠などの情報がなければ、目標が高いために達成度が低いのか、目標が低いために達成度が高いのか判断できないため、評価する際の情報として示すべきである。

花巻市行政評価委員会設置要綱 (平成23年花巻市告示第273号)

(設置)

第1条 市の行政評価の客観性と透明性の向上を図るため、花巻市行政評価委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌)

第2条 委員会の所掌事項は、次のとおりとする。

- (1) 市が実施した行政評価の結果について評価すること。
- (2) 行政評価の改善について市長に提言すること。
- (3) その他行政評価に関し意見を述べること。

(組織)

第3条 委員会は、委員18人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) 公共的団体等から推薦された者
- (2) 学識経験を有する者
- (3) 公募による者

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱を受けた日の属する年度の翌年度末までとし、再任を妨げない。

2 委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長各1人を置き、委員の互選により定める。

2 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

(部会)

第6条 委員会に部会を設ける。

2 部会に属すべき委員は、委員長が委員の意見を聴いて指名する。

3 部会に部会長を置き、部会に属する委員の互選とする。

4 部会長に事故があるとき又は部会長が欠けたときは、あらかじめ部会長が指名する部会に属する委員がその職務を代理する。

(会議)

第7条 会議は、委員長が招集する。

2 委員長は、必要があるときは、委員以外の者の出席を求め説明又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、総合政策部において処理する。

(補則)

第9条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この告示は、平成23年7月26日から施行する。

(経過措置)

2 平成23年度において委嘱する委員の任期については、第3条第3項の規定に関わらず、委嘱の日から平成25年3月31日までとする。

附 則 (平成26年3月28日告示第72号)

この告示は、平成26年4月1日から施行する。

附 則（平成30年4月13日告示第229号）

（施行期日）

1 この告示は、平成30年4月13日から施行する。

（経過措置）

2 この告示の施行の際、現に花巻市行政評価委員会設置要綱の規定により、委員の委嘱を受けている者に係る任期は、なお従前の例による。

花巻市行政評価委員会委員名簿

任期：R2.7.30～R4.3.31

区 分	所属団体等	氏 名	部 会	備 考
(1)公共的団体等から推薦された者	花巻農業協同組合	高橋 利光	人づくり・地域づくり部会	
	花巻商工会議所	八木 浩	しごと部会	
	社会福祉法人花巻市社会福祉協議会	細川 祥	暮らし部会	
	花巻工業クラブ	高橋 徳好	しごと部会	
	一般社団法人花巻観光協会	高橋 誠	しごと部会	
	花巻市PTA連合会	高橋 英明	人づくり・地域づくり部会	
	花巻市食生活改善推進員協議会	高橋 カヨ子	暮らし部会	
	公益社団法人花巻青年会議所	藤田 甲之助	人づくり・地域づくり部会	
	一般財団法人花巻市体育協会	久保田 廣美	しごと部会	
	花巻市芸術協会	菊池 房江	人づくり・地域づくり部会	
	花巻市民生委員児童委員協議会	小原 幸子	暮らし部会	
花巻市地域婦人団体協議会	佐藤 洋子	暮らし部会		
(2)学識経験を有する者	学校法人富士大学経済学部	影山 一男	しごと部会	委員長 部会長
	学校法人富士大学経済学部	鈴木 健	暮らし部会	副委員長 部会長
	公立大学法人岩手県立大学総合政策学部	市島 宗典	人づくり・地域づくり部会	部会長
(3)公募による者	公募委員	高橋 久美子	人づくり・地域づくり部会	
	公募委員	小原 好美	暮らし部会	
	公募委員	佐藤 有莉	しごと部会	